中学校におけるネットリテラシーの現状に関する報告

- 1. 中学生の状況(平成29年度青少年のインターネット利用環境実態調査(内閣府)より)
 - ① 中学生のスマーフォン保有状況 58.1% (前年度 51.7%)
 - ② 中学生のインターネット利用率 54.6%(前年度47.3%) スマートフォンによる利用
 - ③ 家庭のルール(中学生のいる家庭、保護者との比較)

ルールを決めていると答えた中学生 65.1

ルールを決めていると答えた中学生の保護者 85.5%

- ④ 保護者のインターネットに関する啓発や学習の経験
 - * 学校の保護者会や PTA の会合 66.0%
 - *学校から配布された啓発資料等 64.8%
- 2. 平成29年度 全日本中学校長会 調査研究報告書より抜粋
- Ⅲ 携帯電話及びスマートフォン等(以下携帯電話等)に関する生徒指導について
- (1) 貴校における携帯電話等に関わる生徒指導上の問題をお答えください。

【複数回答可】

アネット上の書き込み(掲示板、裏サイト、SNS等) ケ 不適切な交遊

イ 無料通話アプリ(LINE 等)に関わるトラブル コ 暴力行為

ウ Facebook や Twitter 等に関わるトラブル サ 不登校

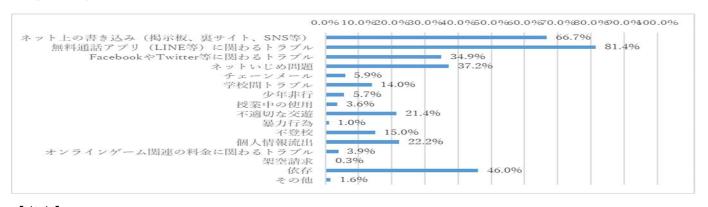
エ ネットいじめ問題 シ 個人情報流出

オ チェーンメール ス オンラインゲーム関連の料金に関わるトラブル

カ 学校間トラブル セ 架空請求

キ 少年非行 ソ 依存

ク 授業中の使用 タ その他



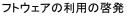
【考察】

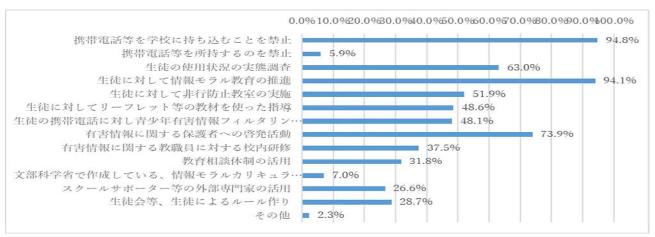
「無料通話アプリ (LINE 等) に関わるトラブル」(81.4%)、「ネット上の書き込み (掲示板、裏サイト、SNS 等)」(66.7%) の上位 2 つは昨年度と変わらず、割合も突出している。 3 位「依存」(46.0%) が 11.2 ポイント、 4 位「ネットいじめ問題」(37.2%) が 5.9 ポイント、 5 位「Facebook や Twitter 等に関わるトラブル」 (34.9%) が 5.6 ポイント増えている。

(2)携帯電話等によるトラブルを防ぐためにこれまで取り組んできたことをお答えください。 か。 【複数回答可】

- ア 携帯電話等を学校に持ち込むことを禁止
- イ 携帯電話等を所持するのを禁止
- ウ 生徒の使用状況の実態調査
- エ 生徒に対して情報モラル教育の推進
- オ 生徒に対して非行防止教室の実施
- カ 生徒に対してリーフレット等の教材を使った指導
- キ 生徒の携帯電話に対し青少年有害情報フィルタリングソ セ その他

- ク 有害情報に関する保護者への啓発活動
- ケ 有害情報に関する教職員に対する校内研修
- コ 教育相談体制の活用
- サ 文部科学省で作成している、情報モラルカリキュラム や指導事例を紹介する教職員向け Web サイト等を活 用しての校内研修
- シ スクールサポーター等の外部専門家の活用
- ス 生徒会等、生徒によるルール作り





【考察】

「携帯電話を学校に持ち込むことを禁止」(94.8%)、「生徒に対して情報モラル教育の推進」(94.1%)の上 位2つの順位が入れ替わったが、割合は突出している。3位「有害情報に関する保護者への啓発活動」(73.9%) と4位「生徒の使用状況の実態調査」(63.0%)は、順位は変わらないがともに6ポイントから7ポイント減 少した。また、昨年度から調査項目に追加した「生徒会等、生徒によるルール作り」(28.7%)は3.7 ポイン ト増えている。

【考察 まとめ】

生徒指導上の問題としては、昨年度と同様に「無料通信アプリ(LINE等)に関わるトラブル」や「ネ ット上の書き込み(掲示板、裏サイト、SNS等)」が突出して高い割合を示している。次いで高い項目は、 「依存」や「ネットいじめ問題」等である。また、トラブル防止策として昨年同様の取り組みが上位を占め るが、昨年度新たに調査項目に追加した「生徒会、生徒によるルール作り」のポイント上昇から、使用者で ある生徒主体の取り組みの重要度も向上している結果となった。